

2015 年度も、職員の行動指針をもとに、国際協力に関心のある・参加する人にスポットを当てた活動（国際協力に関心を持つ人を増やすこと、NGO に関わる人同士をつなぐことが、NGO・国際協力活動への理解や NGO の活性化につながるという考えにもとづいた活動）を展開しました。

FUNN 職員行動指針

「人と世界をつなぐ」

「国際協力に関心があり、世界を知りたい・行動したい・サポートが欲しいと思っている人たち」に向けた活動。世界で起こる問題と私たちの暮らしとの関係性、私たちにできる関わり方や、必要な知識とスキルを伝えていく事で、国際協力への次の行動や選択肢を見つけることができる人を増やしていく。そうした人々が加盟団体につながることで、活動の活性化、発展を促す。

「NGOに関わる人と人をつなぐ」

「加盟団体の理事・職員・支援者・参加者」に向けた活動。同じ国際協力に関心を持つ人や、似た環境にある人同士や世代を超えた関係性をつくり、お互いの学びの場や居場所と感じられる場を提供する。加盟団体における個人同士のつながりを生み出すことで、組織間の協力を促進する。

「NGOと他セクターをつなぐ」

「NGOと、企業・教育機関・行政などの他セクター」に向けた活動。セクター間の協働への関心を引き、具体的な事例を紹介し、連携に向けてのアドバイスをを行い、NGOと他セクターのつながりを生み出す。協働の可能性と力を広げていくことで、NGOの社会的基盤づくりを促進する。

事業報告 目次

1	2015年度事業別報告	
1-1	NGOの活動や運営に関する支援	2
1-2	国際協力に関する調査・提言	4
1-3	国際協力に関する情報・学習機会の提供	6
1-4	NGO活動に関する人財育成	11
1-5	NGO間及び各種団体との連携促進	14
2	組織	
2-1	組織運営・体制	16
2-2	会員	17

1. 2015年度事業別報告

1-1. NGOの活動や運営に関する支援

1-1-1. 2015年度の方針

情報提供と組織・能力強化支援を中心に、団体活動の活性化を目指します。

1-1-2. 2015年度の活動

① 助成金、NGO活動に資する情報の提供

■ 情報提供や人材紹介

○実施内容

主にメールを通して、研修などのイベント情報、助成金情報、声明や賛同に関する情報などの提供を行いました。

○成果

FUNNに届く各種情報をタイムリーに配信することを心掛けました。連絡に対して加盟団体からリアクションとアウトプットに繋がったケースもありました。

② 広報活動の支援

■ 情報の発信

○実施内容

メール、ホームページ、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）、メールマガジン、機関紙などを通して、加盟団体をはじめとしたNGOの情報発信を行いました。

○成果

広報依頼を受けた情報についてはタイムリーに配信することができました。また、FUNNからも情報提供を呼びかけることで加盟団体から情報を集約するなど、市民への積極的な広報活動を実施することができました。

③ NGOの組織・能力強化の支援

■ 対話型ファシリテーション講座

○実施内容

「いかに当事者に対話を行い、気付きや学びを促すか」という問いから生まれた対話型ファシリテーションの技術を学び、活動の質の向上やスキルアップを目指した認定NPO法人ムラのミライ主催講座の福岡での開催を協力しました。



●各回詳細：

入門セミナー 6月14日（日）13:00～15:00 深見ビル

▲グループワークの様子

練習会 6月14日（日）16:00～18:00 福岡NPO共同事務所「びおとーぷ」

相談会 7月11日（土）13:00～15:30 福岡NPO共同事務所「びおとーぷ」

基礎講座 7月12日（日）9:30～17:30 オフィスハミングバード

●講師：

入門セミナー＆練習会 宮下和佳さん（認定NPO法人ムラのミライ）

相談会＆基礎講座 中田 豊一さん（認定NPO法人ムラのミライ）

●協力：NPO法人アカツキ、（特活）NGO福岡ネットワーク

○成果

講座の開催においてはNPO法人アカツキと受け入れの協力を行いました。問題解決のためのグループ作業を側面から支援する実践的な技法としての対話型ファシリテーションを学ぶことで、実践的なコミュニケーションとファシリテーションの手法を得ることができました。

■ 九州地域NGO活動助成金（真如苑共催）

○実施内容

宗教法人真如苑との共催で、加盟団体を対象にした2回の助成金事業を企画、実施しました。半公開方式のプレゼンテーションと審査会を実施し、計6団体の事業（計99万9千円）が採択されました。

●審査会日時：2015年9月13日（日）11:00～17:00

●会場：リファレンス大博多ビル SMR1102

●採択団体と事業：

【九州地域NGO活動助成】

（特活）エスペランサ／第13回アフリカの希望チャリティーコンサートとギニアビサウ現地スタッフ招聘

（特活）九州海外協力協会／はじめよう今日から私も「エコ生活」！！

NPO法人トゥマンハティふくおか／13年間の活動をまとめた記念誌の作成

フレンズ国際ワークキャンプ九州／フィリピンの貧困村でのインフラ整備

【基盤強化助成】

（特活）ソルト・パヤタス／組織基盤強化のための機材投資事業

NPO法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク／共感者を増やすための理事・事務局エンパワーメント研修

○成果

今年度は団体ニーズに基づき、通常の助成事業に加えて組織基盤強化助成に特化した募集も行いました。審査会でのプレゼンテーションは申請団体であれば他団体の発表の様子を見学することができる半公開方式として実施し、事業の作り込みやプレゼンテーションテクニック等を学ぶ観点からの能力強化も目指しました。これは実施初年度となった2014年度の振り返りで挙げられた改善点を反映したもので、他にも助成事業の活動期間の前倒しや、審査要項を整備するなど、制度や運営面における各種改善に取り組みました。

支援を受けた団体は助成金をもとにプロジェクトを効果的に進めたり、団体の組織基盤強化に繋がったりすることができました。

■ ボランティア・マネジメント研修

ボランティアや人材活用をテーマにしたNGOの活動環境整備に寄与する事業を企画し、JICA地球ひろば「地域NGO提案型研修」を活用した事業実施を予定していましたが、申請に至りませんでした。



▲半公開方式プレゼンの様子

■ NGOメンタルヘルス研修

NGOに関わる人の心の健康管理（メンタルヘルス・マネジメント）に取り組むためのNGO向けの研修を企画し、九州ろうきん「NPO助成」に申請しましたが、採択に至りませんでした。

1-2. 国際協力に関する調査・提言

1-2-1. 2015年度の方針

NGOのネットワークとして、NGOや市民全体にかかわることに関して、調査・提言活動に取り組みます。

1-2-2. 2015年度の活動

① 国際問題の調査・研究および国際機関・政府等への政策提言活動

■ 2015年度NGO・外務省定期協議会 ODA政策協議会

○実施内容

ODA政策協議会コーディネーターに応募し、高橋良輔理事が参加しました。

●各回詳細：

NGO・外務省定期協議会全体会議 6月15日（金）14:00～16:00 外務省8階南893国際会議室

第1回ODA政策協議会 7月17日（金）14:00～16:00 外務省7階南761国際会議室

1. 国際保健政策2016-2020の策定について

2. 国際協力機構（JICA）の石炭火力発電に対する支援方針

第2回ODA政策協議会 11月26（木）14:00～16:00 外務省8階南893国際会議室

1. 安保理決議1325号国別行動計画（1325NAP）に関する市民社会の参加について

2. アフリカにおける治安維持に関する日本政府の具体的行動指針および計画について

第3回ODA政策協議会 3月3日（木）15:00～17:00 JICA中部 セミナールームB

1. 日本のODAにおける保健医療分野の方向性 特にユニバーサルヘルスカバレッジ

2. アフリカにおける紛争再燃危機と日本の援助事業：平和構築と人権擁護のために日本ができること

○成果

各回ともに事前の打合せ・本会議にコーディネーターとして参加し、開発援助に関する国内外の政策動向の把握を行いました。協議会で得た情報や議論の状況は、各月の理事会に報告していますが、2015年度に関してはFUNNならびに正会員団体に直接裨益または被害が及ぶ案件はなかったと言えます。次年度の地方開催候補地として、福岡に打診がある可能性もあります。

■ 秘密保護法NGOアクションネットワーク（NANSL）

○実施内容

特定秘密保護法に対応するため、国際協力NGOが相互に協力する仕組みとして設立された秘密保護法NGOアクションネットワークの構成団体として運営に参加しました。

○成果

主に地域ネットワーク型NGO 8 団体が1-2か月に一度SKYPEによる会議を開催。会合には高橋良輔理事が参加しています。特定秘密保護法がNGOやその関係者に適用された際に協同して対処できるように情報共有を行っています。2015年度はNGOへの同法の適用は行われなかったものとみられます。今後の適用の際にNGOが迅速に対処できるように、同ネットワークの活動を2018年3月まで続けることを決定したほか、適用事案が生じた際に支援を受ける弁護士との連携協定も延長しました。2016年度は外務省とのODA政策協議会でODA情報の秘密保護指定からの除外について議論される可能性があります。

■ NGO非戦ネット

○実施内容

国際協力に関わるNGOや、グローバルな観点から市民活動に関わる市民社会組織による安保法制案や戦争政策に反対するための継続的で緩やかなネットワーク団体であるNGO非戦ネットの活動に賛同し、呼びかけ人となりました。

○成果

設立時には、暫定的に高橋良輔理事がFUNNから呼びかけ人として参加しましたが、その後、二ノ坂代表に交代しており、現在は、FUNNとして安保法制に反対の意思を表明する効果があります。安保関連諸法の成立後も、メーリングリスト・HPを通じて反対署名の呼びかけ、各種の関連イベントの情報共有が行われており、引き続き情報共有のために参加する意義はあると考えられます。

■ 2015年度NGO-JICA協議会

○実施内容

NGOとJICAの対等なパートナーシップに基づき、より効果的な国際協力の実現と、国際協力への市民の理解と参加を促進するための意見交換である NGO-JICA 協議会に参加しました。第2回目（9月1日（火））は福岡市で開催され、今年度の重点課題である「NGO 支援事業を通じた JICA 活用法」が取り上げられ、FUNN からの事例発表等を元に意見交換が行われました。

○成果

FUNN が行った事例報告の主張が議論の転換点となり地域主導の新制度設計につながりました。FUNN は、地域に根ざした NGO 活動はそれぞれの背景や取り組みがユニークであると同時に、事業規模や団体の規模も様々であることに留意すべき、という点を強調しました。これが、それまで議論されていた地域の NGO のイメージをより実体に近く捉えることとなり、結果として地域の NGO と JICA 国内機関が主導する制度の仕組みとなりました。



▲事例報告の様子

■ 2016年G7市民社会プラットフォーム

○実施内容

2016年5月に開催されるG7志摩サミットおよび関連閣僚会合に向けて、「政策提言の場作りと情報共有」「他セクター連携」「海外の市民社会の活動支援」を目的に活動する2016年G7市民社会プラットフォーム

ラムの活動に賛同し、呼びかけ団体となりました。

○成果

2015年12月に開催された立ち上げイベントに高橋良輔理事が参加。具体的な提言作りなどに関与する幹事団体には参加せず、メーリングリスト等を通じた各種の情報共有に与っています。2016年5月下旬に三重県四日市市で開催される「市民の伊勢志摩サミット」に同理事が参加し、その状況を理事会に共有することが予定されています。

1-3. 国際協力に関する情報・学習機会の提供

1-3-1. 2015年度の方針

潜在層・関心層の掘り起こしや、層の中や外がつながるための場づくり・工夫に取り組み、国際協力の活性化を目指します。

1-3-2. 2015年度の活動

① 国際協力に関する情報の提供

■ 国際協力ニュース

○実施内容

国際協力、NGO、加盟団体、FUNNの活動の情報発信ツールとして、2か月に1回700部（計6回）発行しました。

○成果

加盟団体、個人会員、地域NGO/NPO、教育機関、行政等の施設に配布することができました。昨年度に続き非常勤職員1名の編集体制であったため、業務負担が大きくなりました。円滑な業務のための実施体制の整備が求められます。

■ メールマガジン「Fun ! Fan ! FUNN !」、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）

○実施内容

FUNNや加盟団体を中心とするNGOのイベントやボランティア情報などを掲載したメールマガジンを隔週水曜日に発行しました。また、Facebook、Twitterなどのツールを活用し、FUNNや加盟団体のイベント、活動情報を提供しました。

○成果

最新情報の収集と提供を意識して取り組むことができました。各種広報媒体を見てイベント等に参加をした市民もいました。

■ ホームページリニューアル

○実施内容

一般財団法人日本国際協力システム（JICS）のNGO支援を受けて、ホームページリニューアル作業を行いました。リニューアルにおいては、FUNNの広報媒体や活動内容の整理、加盟団体へのヒアリング等を行った上で、ホームページのデザインや構成の検討を行いました。

○成果

リニューアル前（2015年5月）とリニューアル後（2016年2-3月）を比較すると、セッション数（≒訪問数）は約1.6倍、ページビュー数は約4.5倍、平均セッション時間（≒滞在時間）は約5倍の増加となりました。

これまでは事務所にあるパソコンから専用ソフトを使って更新していたため、一部の職員に作業が集中し、業務の負担となっていました。ネット接続環境があればいつでもどこからでも更新ができる仕組みへと変更したことで、管理機能が向上しました。また、FUNNの活動を振り返る機会や広報活動の役割分担・連携についても考える機会となり、職員の中でFUNN全体の事業の方向性と広報業務の取り組みが有機的に繋がるようになりました。



▲新しいホームページ

② 国際協力に関する学習機会、参加の場作り

■ 倶楽部FUNN

○実施内容

国際協力に対する理解を深め、国際協力に関心のある市民が出会い・交流を深めることを目的に、学びとコミュニケーションの得られる場を開催しました。

日にち	タイトル	講師	参加者数
4月10日（金）	腹が減っては国際協力はできぬ！～事務局長お手製タイ料理を食す～	なし	11名
5月15日（金）	バヌアツ共和国サイクロン被災地支援報告会	山田泰子さん （国際協力推進員）	15名
6月5日（金）	ワークキャンプにみる幸せとは？	江原文香さん、池山愛奈さん （FIWC九州）	13名
7月3日（金）	NGOと『紙』『印刷』との関わりについて	柴田一裕さん （青雲印刷）	15名
8月7日（金）	あなたにとって、平和とは何ですか？	いのうえしんぢさん （イラストレーター）、藤岡正明さん （PP21 福岡自由学校）	26名
9月4日（金）	今日から取り組める国際協力 ～分かち合い、学び合うフェアトレード～	矢野宏和さん（ウインドファーム）	10名
10月9日（金）	腹が減っては国際協力はできぬ！第2弾！～食欲の秋だから倶楽部 FUNN において～	なし	13名
12月11日（金）	今年もやってきた忘年会＆クリスマスパーティ	なし	18名

2月5日（金）	腹が減っては国際協力はできぬ！第3弾！	なし	8名
3月25日（金）	NGO カレッジ×倶楽部 FUNN	なし	22名

○成果

国際協力に関心がある市民の参加機会を提供する入門編の事業として開催し、計151人が参加しました。NGOの理解、参加促進につなげることができました。



▲7月の倶楽部 FUNN



▲忘年会＆クリスマスパーティ

■ NGO合同説明会

○実施内容

国際協力を知りたい、NGOの活動に参加したいという大学生を対象に、講座とNGOのブース出展を組み合わせた事業を西南学院大学と連携して実施しました。また、本説明会に出展した団体が企画するスタディツアーやワークキャンプに参加した学生へ参加費補助を行う仕組みが新たに設けられました。

●日時：6月10日（水）15:15～18:00

●会場：西南学院大学

●出展団体：ACE福岡グループ、NPO法人エスペランサ、一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン、Save the African Children、九州国際ワークキャンプセンター（NPO法人NICE）、フレンズ国際ワークキャンプ九州（FIWC九州）、NGO福岡ネットワーク

●参加者：約60名

○成果

今年度から、合同説明会に出展したNGOが企画するスタディツアーやワークキャンプに参加した学生に対して、西南学院大学は参加費の補助を行うことになりました。この補助を受けて、大学が企画したツアー等への参加者を含めて、計36名の学生が海外のフィールドへと飛び立ちました。大学からは、ボランティアや国際協力に関心の高い学生が福岡のNGOと出会い、実際に現場を訪れるきっかけづくりになると好評でした。



▲各団体のブースでお話を聞く

■ 外務省「NGO相談員」

○実施内容

外務省NGO活動環境整備支援事業『NGO相談員』を受託し、市民・企業・行政・教育機関等からのNGO

や国際協力に関する相談業務を行いました。2015年度の年間相談件数は456件でした。

○成果

2015年度は、①ファンドレイジングなど組織運営に関すること②進路・キャリア形成③国際協力入門（これから参加したい、何か始めたいといった相談）の3つの分野に関する相談が特に多く寄せられました。

進路・キャリア系の相談では、国際協力業界での勤務経験が長い職員がこれまでに培ってきた経験や知識を活かした多様な進路情報やキャリアプランの考え方等を具体的に提供することができました。また、相談者は大学生であることが多いため、年齢が近い職員も対応に当たること、NGOで働く地域の数少ない事例としての情報提供や相談に応じることができました。

一方で、相談対応後にも意識的にコミュニケーションを取り、関係を維持していくことが課題として挙げられます。アドバイスが実際に活かされているか、成果を上げているかなどについてフォローアップを行う必要があります。現在実施しているフォローアップをさらに主体的、意識的に取り組むことが求められています。

■ NGO相談員「出張サービス」

○実施内容

市民などからの相談対応を通じた国際協力の理解促進を目的に、国際協力関連のイベントなどにおける相談対応や講演活動を積極的に実施しました。2015年度は3件の出張サービスを実施しました。

日にち	企画名	主催者／依頼者	場所	参加者数
11月7日（土） 8日（日）	アミカス記念祭 ☆ 2015	福岡市男女共同参画 推進センター・アミカス	福岡市男女共 同参画推進セン ター・アミカス	2,484 名 （総来場 者数）
11月14日（土） 15日（日）	国際協力フェスタ「地 球 市 民 ど ん た く 2015」	地球市民どんたく実行 委員会	アクロス福岡 2 階「交流ギャラリー」	410 名
2月1日（月）	NPO で活動するとい うこと	福岡県立大学人間社 会学部	福岡県立大学 3203 講義室	13 名



▲地球市民どんたく（相談対応）



▲NPO で活動するということ（講演）

○成果

出張サービスは、対面で話すことで丁寧な説明が可能になるため、国際協力やNGOの啓発として有効な活動になっています。今年度実施したイベント出展型の出張サービスは、国際協力（・交流）関心層が集う場であることから、来場者が日頃から持っていた疑問や質問を解消する機会になったというケースも多くありました。来

場者の中には、イベントでのFUNNとの出会いを機に継続した相談（国際協力を始めたい）に繋がったケースもありました。

また、大学で行った講演形式の出張サービスは、国際協力やNGO等の話題に触れる機会の少ない大学生に対して、NGOの活動やキャリアに関する職員の実体験などを具体的に話すことで、依頼者からは刺激や学びが生まれる機会になったとの評価をいただきました。

■ イベント参加・出展

○実施内容

下記イベントに参加・出展を行いました。

日にち	企画名	主催者	場所
10月4日（日）	ハートフルフェスタ福岡 2015	ハートフルフェスタ福岡実行委員会	福岡市役所西側 ふれあい広場
11月1日（日）	ふくおか“できる！”マーケット	福岡県（福岡県 NPO・ボランティアセンター）	天神中央公園

○成果

相談ブース、フリーマーケット、グリーンカレーの販売等を通して多くの県民・市民と出会いや触れ合いの機会を作ることができました。出展においてはたくさんのボランティアにご協力をいただきました。



▲ハートフルフェスタ



▲ふくおか“できる”マーケット

■ 佐賀大学「国際協力論」／福岡国際大学「国際協力論」

○実施内容

国立大学法人佐賀大学「国際協力論」および福岡国際大学「国際協力論」において、職員が非常勤講師となって下半期週1回の授業を担当しました。

○成果

佐賀大学の受講生は30名、福岡国際大学の受講生は69名でした。多くの学生に国際協力への興味を持ってもらうことができました。授業によって海外に関心を持ち、青年海外協力隊に参加したいという学生からの相談にも応じました。普段は馴染みのない海外への興味関心を持ってもらうことができたと考えています。

■ 講師派遣

○実施内容

大学や小中高校での総合学習の授業や公民館、市民・他団体の取組・企画にFUNN職員などを派遣、およ

び派遣の調整を行いました。

日にち	授業・企画名	主催者／依頼者	場所	参加者数
7月1日（水）	夢カフェ	九州国際大学国際関係学部	九州国際大学	約 100 名
7月3日（金）	国際協力実践論	九州国際大学国際関係学部	九州国際大学	約 30 名
10月28日（水）	NPO と大学生との交流会	株式会社三角形	九州国際大学	約 20 名
1月12日（火）	韓国ソーシャルビジネス視察ツアー	株式会社共感万歳	リファレンス大博多ビル	約 20 名
2月1日（月）	NPO で活動をするということ	福岡県立大学人間社会学部	福岡県立大学 3203 講義室	13 名

■ JICA開発教育支援委託業務

JICAの開発教育支援事業の内、国際協力出前講座、館内展示、高校生国際協力実体験プログラムの業務を行う委託業務に申請しましたが、採択に至りませんでした。

1-4. NGO活動に関する人財育成

1-4-1. 2015年度の方針

FUNNや福岡の国際協力活動の発展に資する人材の確保・育成のための活動に取り組みます。

1-4-2. 2015年度の活動

① 人材確保・育成の為に施策

■ ボランティア

○実施内容

国際協力やNGOの活動に関心のある方をFUNNのボランティアとして受け入れました。福岡市NPO・ボランティア交流センターのボランティア体験プログラム「ハジメノイッポ」の受け入れも行いました。また、NGO相談を通して「ボランティアをしたい」という市民への相談にも応じ、加盟団体の活動紹介や仲介などを行いました。

○成果

国際協力ニュースの発送作業やイベント出展時のブース手伝い（設営、グリーンカレーやコーヒーなどの販売）など気軽に参加できるプログラムを用意したことで、学生や社会人に楽しみながら参加してもらうことができました。



▲ふくおか“できる”マーケットのボランティア

■ インターン

○実施内容

週10時間、3ヶ月以上勤務をするインターンを3名受け入れました。浦眞美子さん（4月～7月）、中原亮さん（4月～9月）、中尾優希さん（5月～3月）。

また、福岡教育大学のインターンプログラムや福岡市NPO・ボランティア交流センター「あすみん」が実施する「かばんもち」でもインターンを受け入れました。

○成果

FUNNでのインターンを機に国際協力団体を立ち上げた学生や、終了後もイベントへの参加やボランティアとして関わってもらうことができました。



▲インターンの3名

■ 第15期NGOカレッジ「国際協力のつくりかた」

○実施内容

国際協力の理解・参加促進を目的に、グローバル 이슈を学び、社会における一人ひとりの役割について考え、判断・行動できる人材を育てる連続講座のステップ3を開催しました。参加者を加盟団体に派遣し、団体が抱える課題解決や事業の改善に向けた取り組みを協働で行うための機会を提供しました。

※第15期NGOカレッジは2015年2月～6月までのプロジェクトです。

日にち	タイトル	講師	会場	参加者数
4月11日（土）	ステップ 3「実践 NGO 活動！」⑦プロジェクト策定開始	芹田博さん（せりた PR 企画）	福岡市 NPO・ボランティア交流センター「あすみん」セミナールーム	5 名
5月30日（土）	ステップ 3「実践 NGO 活動！」⑧中間報告	FUNN スタッフ	SMBC コンシューマーファイナンス 天神お客様サービスプラザ	5 名
6月28日（日）	ステップ 3「実践 NGO 活動！」⑨プレゼン	河部正さん（西日本国際財団事務局）、長田喜光さん（福岡市 NPO・ボランティア交流センター「あすみん」センター長）	福岡県 NPO・ボランティアセンター 会議室	5 名

○成果

講座の参加者が実際にNGO活動に参加し、受け入れ団体3団体のうちの2団体から協力活動案件が提案されました。NPO法人トゥマンハティふくおかからは、「博多どんたく港まつりパレード」に参加した新しいメンバーの今後の活動としてインドネシア勉強会を定期的で開催することになりました。認定NPO法人地球市民の会で活動した参加者は、団体の課題である広報と商品改善に取り組みました。イベント等での商品の販売や商品パンフレットの英訳、イベントでの試飲アンケート調査等を行い、今後のマーケティングに参考となる具体的提案を挙げ

てくれました。

NGOカレッジ終了後も受け入れ先の団体での活動に取り組む参加者もあり、具体的な行動へと繋げることができました。



▲アクションプランの宣言



▲3カ月の取り組みを発表

■ 第16期NGOカレッジ「世代を超える、世界を変える国際協力」

○実施内容

国際協力の理解・参加促進を目的とした連続講座を企画し、「世界の人びとのためのJICA基金」の採択を受けて実施しました。

日にち	タイトル	講師	会場	参加者数
2月11日（木）	ステップ1「知る」①	関根健次さん（ユナイテッドピープル株式会社 代表取締役）	共創館カンファレンス B	25 名
2月13日（土）	ステップ1「知る」②	ニノ坂保喜さん（NPO 法人バングラデシュと手をつなぐ会代表）	リファレンス大博多ビル SMR1206	14 名
2月20日（土）	ステップ2「学ぶ」③	安村妙さん（JVC 九州ネットワーク代表）、呉唯意さん（FIWC 九州委員長）	共創館カンファレンス D	14 名
2月27日（土）	ステップ2「学ぶ」④	谷山博史さん（JVC 代表理事）	リファレンス大博多ビル SMR1206	13 名
3月12日（土）	ステップ3「行動する」⑤	里川径一さん（AIM 国際ボランティアを育てる会代表）	福岡学生交流会館 小会議室	13 名
3月19日（土）	ステップ3「行動する」⑥	里川径一さん（AIM 国際ボランティアを育てる会代表）	福岡学生交流会館 小会議室	9 名
3月25日（金）	ステップ3「行動する」⑦	FUNN スタッフ	福岡 NPO 共同事務所「びおとーぷ」	22 名



▲多くの学びがあった第1回目の講座



▲アクションプランを動画に撮影

○成果

今期は、NGOカレッジの原点に立ち返り、「国際協力の理解・参加促進」を目的に、国際協力への関心や参加度合いの異なる老若男女が幅広く参加することで生まれる新しい価値観や学びの発見、仲間作りの場を提供することを意識して実施しました。2ヵ月弱のうちに開催される全7回の講座すべてを受講することが参加条件というハードルの高さながらも、18名の全回参加者＋単発参加者によって構成された講座となりました。

講座での学びや参加者同士の意見交換などによって、社会課題解決に繋がる自分の行動について考え、アウトプットとしてその行動プランを宣言（動画を撮影しました）することができました。今後は6月まで参加者へのフォローを行い、講座での学びや宣言を冷まらず、具体的な行動へと繋がるためのサポートを行っていきます。

1-5. NGO間及び各種団体との連携促進

1-5-1. 2015年度の方針

国際協力の理解促進、発展、社会的課題の解決を目指して、NGOとNGOを繋ぎ、NGOとは異なるセクターを繋ぐことによる相乗効果を目指します。

1-5-2. 2015年度の活動

① ネットワークの構築

■ ネットワーク活動

○実施内容

（特活）国際協力NGOセンター、（特活）関西NGO協議会、（特活）名古屋NGOセンター、動く→動かす、独立行政法人国際協力機構九州国際センター、JICA国際協力推進員、（公財）福岡よかトピア国際交流財団、福岡国際関係団体連絡会（FUKU-NET）、（公財）福岡県国際交流センター、福岡県NPO・ボランティアセンター、福岡市NPO・ボランティア交流センター「あすみん」、福岡市人権啓発センター「ココロセンター」、福岡NPO共同事務所「びおとーぶ」などFUNNが加盟・登録しているネットワークの連絡会や交流会に参加し、情報交換、連携促進を図りました。

○成果

関係機関とは日常的に連絡を取り合ったり、各施設を定期的に訪れることで、お互いの相談に応じたり、事業面での連携が実現するなどの良好な関係を構築することができました。

■ NGOと企業の連携推進ネットワーク

○実施内容

「NGOと企業の連携推進ネットワーク」（事務局：（特活）国際協力NGOセンター（JANIC））に参加し、NGOと企業の連携のための情報収集に努めました。

○成果

地球規模の課題解決に向けたNGOと企業の連携の最新事例やノウハウなどの情報を手に入れることができました。

■ 外務省NGO研究会「国際協力活動における地方のNGOの能力強化」

○実施内容

（特活）関西国際交流団体協議会が受託したNGO研究会の活動に協力しました。九州のNGOから育成団体として1団体を選定し、その団体が抱える課題等を直接ヒアリング。団体の活動強化に向けて外部の研修会の紹介や、アドバイスといった支援を行いました。

○成果

支援団体は財政面に課題を抱えていたため、団体活動と合致する委託事業の紹介や、団体スタッフの人材育成に関するアドバイスを行いました。事業としては短期間のスケジュールであったため、継続的な支援のために今後もヒアリング等を繰り返しながら相談に応じたいと思います。

■ JICA草の根等新制度説明会

○実施内容

第2回NGO-JICA協議会（福岡開催）の機会に併せてJICAとともに「九州地区草の根技術協力事業の制度説明会」を9月1日（火）に開催しました。対象はJICAの草の根技術協力事業の制度に関心をもつNGO等の国際協力団体と、これから国際協力の第一歩を踏み出そうとしているNGO等の国際協力団体です。

○成果

FUNNは主として広報と参加勧奨を行いました。加盟団体をはじめ九州各地から参加した団体とコンタクトし情報共有等を行いました。

■ 地域ネットワーク型NGOとJICAの意見交換会

○実施内容

第2回NGO-JICA協議会（福岡開催）の機会に併せて9月2日（水）に行われたJICA主催の意見交換会に参加し、事例報告を行いました。

○成果

NGO-JICA協議会と本意見交換会での主張や議論によって、前記の通りの成果を得ました。

2.組織

2-1. 組織運営・体制

役員

【代 表】 ニノ坂保喜／（特活）バングラデシュと手をつなぐ会 代表

【副代表】 藤井大輔／債務と貧困を考えるジュビリー九州 代表、九州国際大学国際関係学部准教授
楠原圭子／アジア開発銀行福岡NGOフォーラム 事務局

【理 事】 大谷賢二／一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン 理事長
河上雅夫／NPO法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク 理事
高橋良輔／認定NPO法人地球市民の会 評議員、青山学院大学地球社会共生学部教授
瀧本昌平／債務と貧困を考えるジュビリー九州 事務局長
原田君子／（特活）NGO福岡ネットワーク 事務局長

【監 事】 安部昌明／（特活）明日のカンボジアを考える会 代表

事務局

【事務局長】 原田君子

【職 員】 本田正之、瀧村卓司

【会 計】 岩本直子

【機 関 誌】 多原真美

■通常総会：2015年5月24日（日）福岡NPO共同事務所「びおとーぷ」共同大会議室

■理事会：毎月1回

■事務局会議：毎週水曜日

2-2. 会員

正会員（全25団体）

NPO法人ISAPH

アジア開発銀行福岡NGOフォーラム（FNA）

（特活）アジア女性センター

（特活）明日のカンボジアを考える会

認定NPO法人ACE

（特活）エスペランサ

（財）カンボジア地雷撤去キャンペーン

（特活）九州海外協力協会

くるんて〜ぶの会

コミュニティ コミュニケーション・サポートセンター（Commu）

債務と貧困を考えるジュビリー九州

JVC九州ネットワーク

Save the African Children

（特活）ソルト・パヤタス

NPO法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク

認定NPO法人地球市民の会

チベットを知る会

NPO法人トゥマンハティふくおか

（特活）NICE

ネパール歯科医療協力会（ADCN）

（特活）バングラデシュと手をつなぐ会

バングラディッシュピルガゾン村診療所実行委員会

PP21ふくおか自由学校

（財）福岡YMCA

フレンズ国際ワークキャンプ九州（FIWC九州）

個人会員

賛助会員（個人） 14名

賛助会員（団体） 0

賛助会員（企業） 0

通信会員 34名

以上